

Profile

映画ソムリエ。雑誌やWebをはじめ、映画公開イベントでのMCとしても活動中。独自視点のレビューが人気で、映画だけでなくカルチャーへの愛が止まらない。

『日本侠客伝』『仁義なき戦い』を手掛け、東映黄金期に活躍した脚本家である笠原和夫が1964年に執筆した16ページの幻のプロットが60年の時を経て映画化されることが話題です。東映が誇る集団抗争時代劇が令和の時代に、監督・白石和彌/脚本・池上純哉という平成ヤクザ映画の金字塔『孤狼の血』シリーズのタッグで受け継がれます。

舞台は1868年。幕末維新时期に起きた『戊辰戦争』の最中、新発田藩（現在の新潟県新発田市）で繰り広げられた歴史的事件・奥羽越列藩同盟軍への裏切り。旧幕府軍への裏切りのエピソードをもとに、捕らえられていた11人の罪人たちが「決死隊」として砦を守る任に就くことに…。

山田孝之と仲野太賀をダブル主演に迎え、実力派の豪華俳優

Vol.5

観 百 画 映



©2024「十一人の賊軍」製作委員会

『十一人の賊軍』

2024年11月1日（金）全国公開

配給/東映

スタッフ/監督：白石和彌、原案：笠原和夫、脚本：池上純哉、音楽：松隈ケンタ

出演/山田孝之、仲野太賀、尾上右近、鞘師望保、玉木宏、阿部サダヲ 他

上映分数/155分

公式HP / <https://11zokugun.com/>

公式SNS / X: @11zokugun_movie、Instagram: @11zokugun_movie

陣が次々と登場する本作は、濃密な人間模様を描かれた群像劇になっています。上映時間は155分あるも、疾走感たっぷりで体感としては短く感じられます。「個」と「社会」は繋がっているのが世の常であり、罪人と呼ばれるも、貧困や格差社会がもたらした構造により悪事を働い

ていてしまった者もいます。いつの時代も声なき者の声が存在し、移りゆく歴史の中で切り捨てられていった人々にスポットを当てているのが意義深いです。見どころは360度どこを見渡しても壮大な世界観のセットで繰り広げられる圧巻のアクション。特に「橋」を効果的に使用し

たスクリーン映え抜群！鮮烈な生と死の瞬間が続き、緊張感は緩むことなく最後まで手に汗を握ります。また、人間を描いた物語としても秀逸です。妻を新発藩士に襲われ復習のために罪人となった政（山田）が仲間と関わるうえで人間味を取り戻していく姿、決死隊として護衛作戦への参入を命じられた旧幕府派の同盟軍の鷲尾（仲野）が自分だけの正義を見出していく姿。二人がそれぞれに自己を再発見していく物語に、人生や死そのものを考えさせられます。物語が進むにつれて「十一人の賊軍」というタイトルに集約していくストーリーラインは非常にクールです。悲痛な運命を乗り越えて、未来を託されているモノの無垢な魂に希望を見出すことができる力強い作品となっています。

目的をを持った人にしか、人生の勝ち負けはわからない